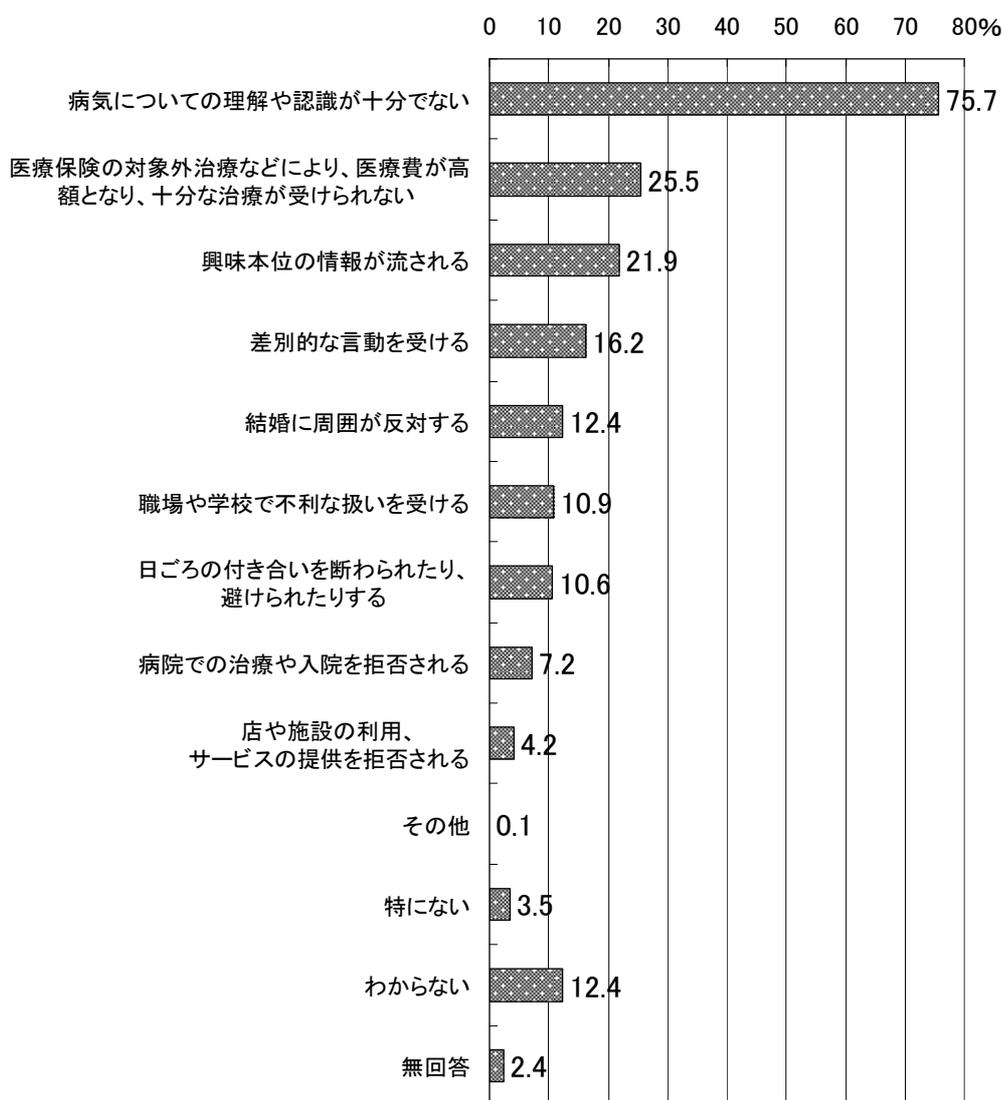


## 8. 感染症（ハンセン病、HIV等）や難病等患者の人権について

問 23. 感染症や難病等患者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること  
 感染症や難病等患者に関する人権上の問題で特に問題があると思われることについては、「病気についての理解や認識が十分でない」が75.7%で最も多く、次いで「医療保険の対象外治療などにより、医療費が高額となり、十分な治療が受けられない」が25.5%、「興味本位の情報が流される」が21.9%などとなっている。

図 23-1 感染症や難病等患者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること（N=918、複数回答3）



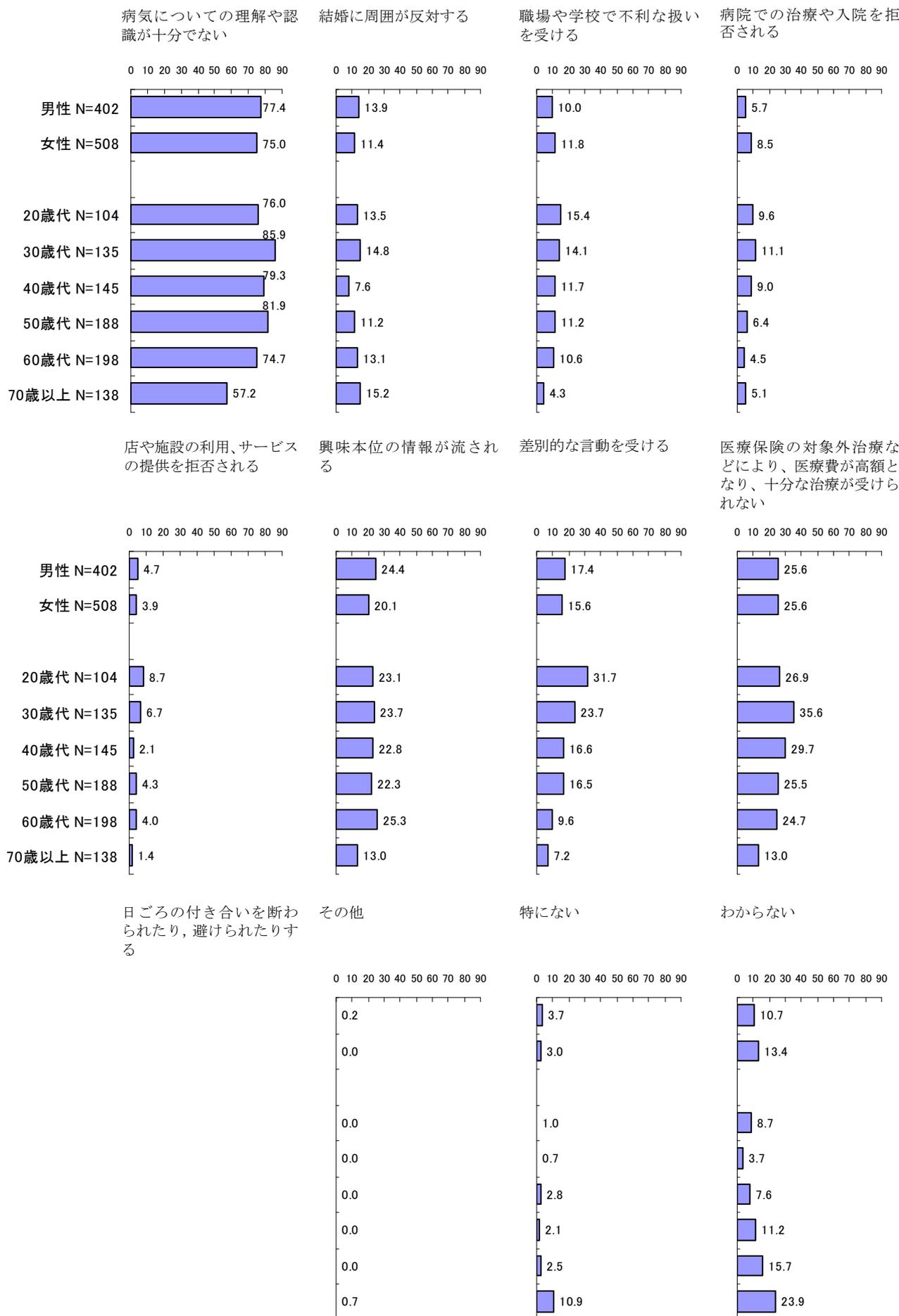
### 【性別】

性別にみると、大差はない。

### 【年代別】

年代別にみると、「病気についての理解や認識が十分でない」の割合は70歳以上を除いて75%~85%で高い。年代が低くなるほど、「差別的な言動を受ける」の割合は高くなる。

図 23-2 感染症や難病等患者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること 単位：%



【職業別】

職業別にみると、「病気についての理解や認識が十分でない」の割合は、特に公務員、会社員・団体職員では85%を超え、他と比べて高い。公務員では「興味本位の情報が流される」の割合が38.8%で他と比べて高い。会社員・団体職員では「医療保険の対象外治療などにより、医療費が高額となり、十分な治療が受けられない」の割合が34.4%で他と比べて高い。

図 23-3 感染症や難病等患者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること

単位：%

	N	病気についての理解や認識が十分でない	結婚に周囲が反対する	職場や学校で不利な扱いを受ける	病院での治療や入院を拒否される	店や施設の利用、サービスの提供を拒否される	興味本位の情報が流される	差別的な言動を受ける	医療保険の対象外治療などにより、医療費が高額となり、十分な治療が受けられない	日ごろの付き合いを断わられたり、避けられる	その他	特にない	わからない	無回答
総数	918	75.7	12.4	10.9	7.2	4.2	21.9	16.2	25.5	10.6	0.1	3.5	12.4	2.4
農林水産業	37	75.7	16.2	16.2	5.4	5.4	13.5	2.7	21.6	8.1	2.7	-	10.8	5.4
自営業	89	73.0	9.0	7.9	3.4	6.7	13.5	10.1	19.1	12.4	-	9.0	14.6	3.4
公務員	49	89.8	14.3	6.1	6.1	8.2	38.8	18.4	18.4	12.2	-	2.0	4.1	2.0
会社員・団体職員	241	85.9	13.7	13.7	7.5	5.0	23.7	21.6	34.4	11.2	-	1.2	6.2	1.2
学生	23	65.2	13.0	17.4	4.3	13.0	26.1	43.5	13.0	13.0	-	-	8.7	-
パート・アルバイト	75	80.0	12.0	12.0	8.0	1.3	32.0	17.3	26.7	8.0	-	2.7	10.7	-
主婦・家事手伝い	151	75.5	9.9	15.2	11.3	4.6	17.2	13.9	27.8	10.6	-	3.3	13.2	2.0
無職	139	69.1	12.2	7.2	5.0	2.2	30.9	13.7	23.7	11.5	-	4.3	15.8	2.2
その他	70	62.9	11.4	4.3	10.0	-	7.1	15.7	17.1	4.3	-	5.7	22.9	4.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、「病気についての理解や認識が十分でない」の割合は、特に3世代や夫婦と親で80%を超え、他と比べて高い。

図 23-4 感染症や難病等患者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること

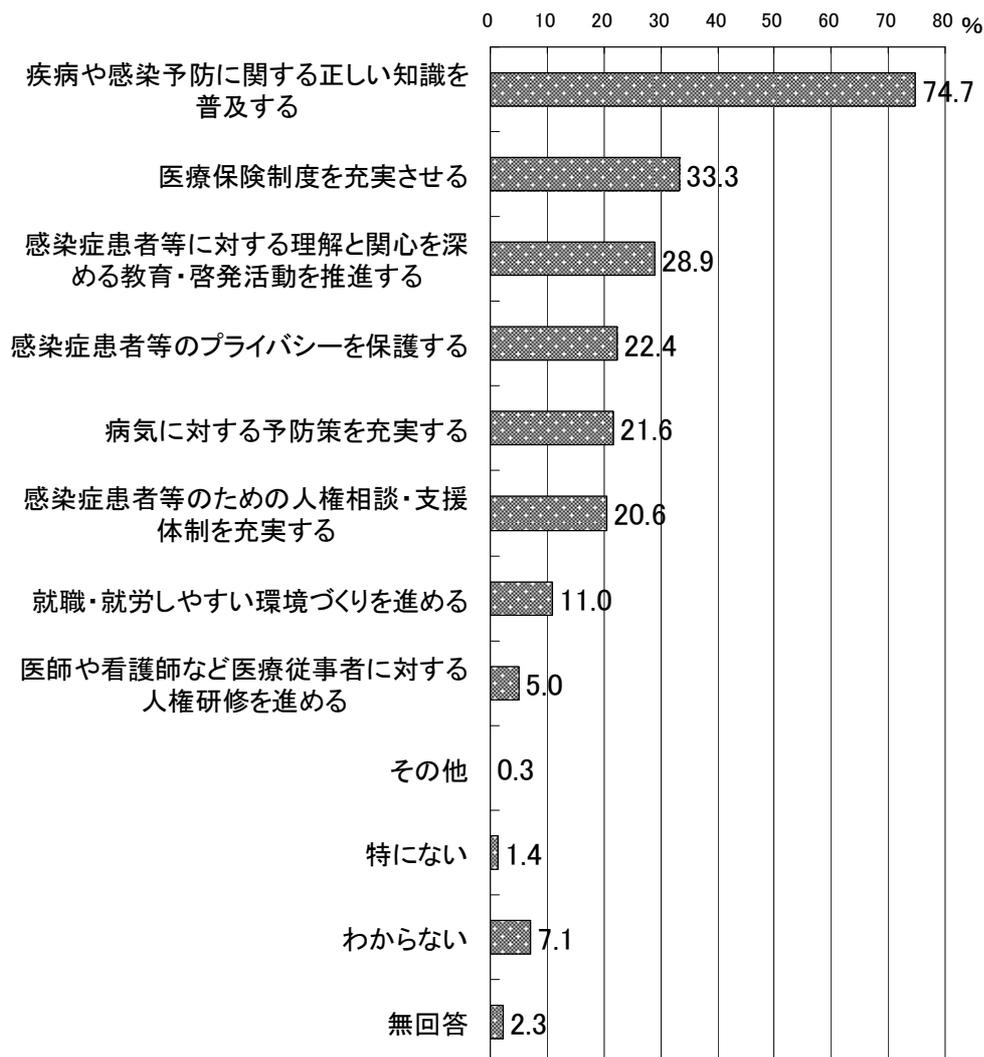
単位：%

	N	病気についての理解や認識が十分でない	結婚に周囲が反対する	職場や学校で不利な扱いを受ける	病院での治療や入院を拒否される	店や施設の利用、サービスの提供を拒否される	興味本位の情報が流される	差別的な言動を受ける	医療保険の対象外治療などにより、医療費が高額となり、十分な治療が受けられない	日ごろの付き合いを断わられたり、避けられる	その他	特にない	わからない	無回答
総数	918	75.7	12.4	10.9	7.2	4.2	21.9	16.2	25.5	10.6	0.1	3.5	12.4	2.4
単身	73	71.2	12.3	8.2	4.1	1.4	13.7	13.7	20.5	12.3	-	4.1	17.8	4.1
夫婦のみ	175	73.7	12.0	6.9	6.9	4.0	21.1	9.7	22.3	11.4	-	4.0	17.1	2.9
夫婦と子	371	78.2	11.6	14.3	8.6	4.6	21.8	19.1	28.6	10.8	0.3	2.2	9.4	1.6
夫婦と親	39	82.1	15.4	15.4	12.8	-	23.1	15.4	30.8	7.7	-	5.1	10.3	-
3世代	133	84.2	12.8	8.3	6.0	5.3	25.6	13.5	23.3	6.0	-	2.3	9.8	3.0
一人親と子	66	69.7	13.6	6.1	1.5	4.5	27.3	24.2	21.2	15.2	-	6.1	9.1	3.0
その他	54	59.3	16.7	14.8	9.3	7.4	20.4	20.4	31.5	13.0	-	5.6	18.5	1.9

問 24. 感染症や難病等患者の人権を守るために特に必要なこと

感染症や難病等患者の人権を守るために特に必要なことは、「疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」が 74.7%で最も多く、次いで「医療保険制度を充実させる」が 33.3%、「感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」が 28.9%などとなっている。

図 24-1 感染症や難病等患者の人権を守るために特に必要なこと(N=918、複数回答3)



【性別】

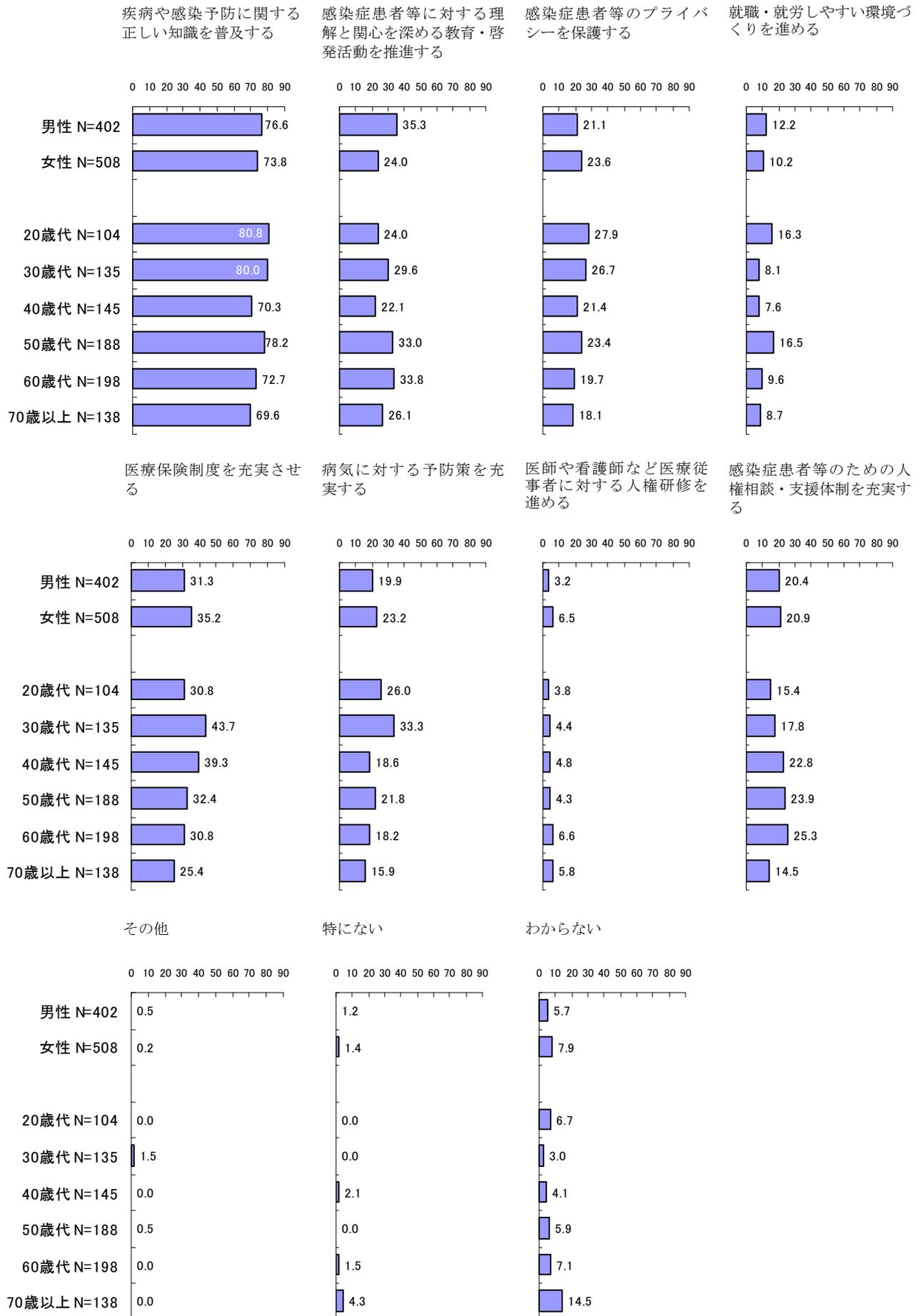
性別にみると、「疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」の割合は、男女共に高い。「医療保険制度を充実させる」の割合は、女性が若干高く、「感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」の割合は、男性が女性と比べて高い。

【年代別】

年代別でみると、「疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」の割合は、どの層でも高く、「医療保険制度を充実させる」「病気に対する予防策を充実する」の割合は 30 歳代で他と比べて高い。

図 24-2 感染症や難病等患者の人権を守るために特に必要なこと

単位：%



【職業別】

職業別にみると、「疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」の割合は、農林水産業、公務員、会社員・団体職員、学生で80%を超え、他と比べて高い。農林水産業では「感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」の割合が48.6%で他と比べて高い。会社員・団体職員では「医療保険制度を充実させる」の割合が42.7%で他と比べて特に高い。主婦・家事手伝いでは、「病気に対する予防策を充実する」の割合が30.5%で他と比べて高い。

図 24-3 感染症や難病等患者の人権を守るために特に必要なこと 単位：%

	N	疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する	感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	感染症患者等のプライバシーを保護する	就職・就労しやすい環境づくりを進める	医療保険制度を充実させる	病気に対する予防策を充実する	医師や看護師など医療従事者に対する人権研修を進める	感染症患者等の人権相談・支援体制を充実する	その他	特になし	わからない	無回答
総数	918	74.7	28.9	22.4	11.0	33.3	21.6	5.0	20.6	0.3	1.4	7.1	2.3
農林水産業	37	83.8	48.6	27.0	16.2	27.0	13.5	2.7	13.5	-	-	-	5.4
自営業	89	75.3	27.0	21.3	13.5	27.0	18.0	6.7	29.2	-	2.2	4.5	3.4
公務員	49	83.7	36.7	22.4	14.3	30.6	18.4	8.2	12.2	2.0	4.1	-	2.0
会社員・団体職員	241	80.5	30.3	23.2	13.3	42.7	23.2	4.6	19.1	0.4	0.4	3.7	0.8
学生	23	87.0	34.8	30.4	13.0	8.7	21.7	4.3	17.4	-	-	4.3	-
パート・アルバイト	75	76.0	30.7	25.3	13.3	34.7	22.7	4.0	21.3	-	1.3	8.0	-
主婦・家事手伝い	151	74.2	21.2	22.5	7.9	33.8	30.5	4.0	24.5	0.7	-	7.9	2.0
無職	139	71.9	30.2	21.6	7.9	30.2	24.5	5.0	22.3	-	2.2	8.6	1.4
その他	70	61.4	22.9	12.9	1.4	34.3	12.9	7.1	12.9	-	4.3	15.7	4.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、「疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」の割合は、夫婦と親や3世代で80%を超え、他と比べて高い。夫婦と親の世帯では、「医療保険制度を充実させる」の割合が41.0%で他と比べて高く、「感染症患者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」及び「就職・就労しやすい環境づくりを進める」の割合が、それぞれ38.5%、23.1%で他と比べて高い。

図 24-4 感染症や難病等患者の人権を守るために特に必要なこと 単位：%

	N	疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する	感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	感染症患者等のプライバシーを保護する	就職・就労しやすい環境づくりを進める	医療保険制度を充実させる	病気に対する予防策を充実する	医師や看護師など医療従事者に対する人権研修を進める	感染症患者等の人権相談・支援体制を充実する	その他	特になし	わからない	無回答
総数	918	74.7	28.9	22.4	11.0	33.3	21.6	5.0	20.6	0.3	1.4	7.1	2.3
単身	73	71.2	28.8	20.5	15.1	28.8	17.8	5.5	13.7	-	1.4	13.7	5.5
夫婦のみ	175	67.4	26.3	17.7	9.1	36.0	21.7	6.3	25.1	-	1.7	8.6	1.7
夫婦と子	371	78.2	31.0	24.0	10.5	33.2	22.9	4.9	19.4	0.5	1.1	5.4	1.9
夫婦と親	39	82.1	38.5	23.1	23.1	41.0	20.5	-	25.6	-	-	5.1	-
3世代	133	80.5	26.3	24.8	9.8	32.3	22.6	5.3	18.8	0.8	-	4.5	2.3
一人親と子	66	74.2	24.2	22.7	10.6	25.8	21.2	3.0	25.8	-	3.0	6.1	3.0
その他	54	64.8	29.6	24.1	11.1	40.7	18.5	7.4	18.5	-	3.7	11.1	1.9